

平成23年度版

生ごみ処理容器等設置費補助金制度
利用状況等アンケート結果報告書

大和市環境管理センター
収集業務課 資源循環担当

目次

I. アンケート実施概要	1
II. アンケート結果概要	
1. 補助制度について	
(1) 補助制度の周知等について	2
(2) 補助率・補助金額について	2
(3) 補助制度の手続きについて	3
(4) 補助制度の有効性について	3
2. 機器について	
(1) 機器の購入について	3
(2) 機器の利用について	3
3. 個別の質問について	
(1) 機器から出る二オイ・音について	4
(2) 堆肥の拠点回収について	4
III. アンケート結果分析	
1. 機器の利用と減容率の関係	5
2. 機器の二オイや音と再購入について	6
3. ごみの減量化・資源化への関心と補助制度について	7
IV. 各設問ごと結果	8
V. 自由記入欄一覧	
1. 電動生ごみ処理機利用者	18
2. 生ごみ処理容器（コンポスト）利用者	21
3. ガーデンシュレッダー利用者	22
資料 アンケート様式	
1. 電動生ごみ処理機利用者	25
2. 生ごみ処理容器（コンポスト）利用者	27
3. ガーデンシュレッダー利用者	29

記事

系統抽出法（等間隔抽出法）とは	1
JEMA（日本電機工業会）の調査について	2
本アンケートの信頼性について ～統計学上の信頼性～	4

I. アンケート実施概要

本アンケートは、生ごみ処理容器等設置費補助金制度利用者に対し、機器の利用状況、処理物の活用方法及び制度に対する満足度等を調査し、今後の資源化施策及び補助金制度の検討資料とするものです。

■調査期間 平成24年1月12日～1月27日

■調査対象者 平成18年度から平成22年8月までの補助制度利用者300人。
(過去回答者及び平成22年9月以降の補助対象者を除く)
補助品目ごとに対象者数を決定したあと、系統抽出法(等間隔抽出法)を用いて対象者を抽出しました。
補助品目ごとの調査対象者数は以下の通りです。

補助品目	調査抽出対象者数	調査対象者数
コンポスト	72人	60人
電動生ごみ処理機	2,434人	210人
ガーデンシュレッダー	46人	30人
合計	2,552人	300人

■調査方法 郵送調査、無記名方式

■調査内容

- ・使用機種について(処理方式、購入動機、購入先)
- ・使用状況について(利用頻度、生ごみ処理量、減量効果)
- ・生成物について(生成物の活用方法、拠点回収場所の利用)
- ・制度について(周知方法、補助率・限度額等への満足度や意見)

■回答者数

生ごみ処理容器(コンポスト)	: 42人
電動式生ごみ処理機	: 112人
ガーデンシュレッダー	: 22人
計	: 176人

■回答率 58.7%

系統抽出法(等間隔抽出法)とは

統計を取る場合、全ての対象者に対して調査を行うのは大変なので、通常は対象者(「標本」と言います)を絞って行います。このとき、対象者の選び方に偏りがあると調査結果が正しく全体(「母集団」と言います)を表さないため、無作為に対象者を抽出する必要があります。

系統抽出法は無作為に対象者を抽出する方法の一つで、以下のような手順で行います。

- ①対象者をリストに並べる
- ②最初に抽出する1件をランダムに決める(乱数などで決定)
- ③それ以降は等間隔(3番ごと、10番ごと、など)に対象者を抽出する

全ての抽出をランダムに行えばいいのですが、母集団や抽出数が多い場合は抽出用の乱数を用意するだけでも大変なので、乱数を1つだけ決定すればよい系統抽出法がよく用いられます。

Ⅱ. アンケート結果概要

ここでは調査結果の概要について報告します。各設問の詳細な結果については、「4. 各設問ごと結果」及び「5. 自由意見欄一覧」をご参照ください。

1. 補助制度について

(1) 補助制度の周知等について

補助制度の周知方法として最も有効なのは「広報やまと」だということがわかりました。また、現在は行っていない「販売店等の宣伝」で補助制度を知った方も多く、補助制度の周知に「販売店へのチラシ設置」も有効だということがわかりました。

市が行っている補助制度の周知については、61%の方が現行の方法を肯定しています。しかし、「足りない」「大いに足りない」と感じた方も39%いるため、引き続きさまざまな方法で周知を図っていきます。

(2) 補助率・補助金額について

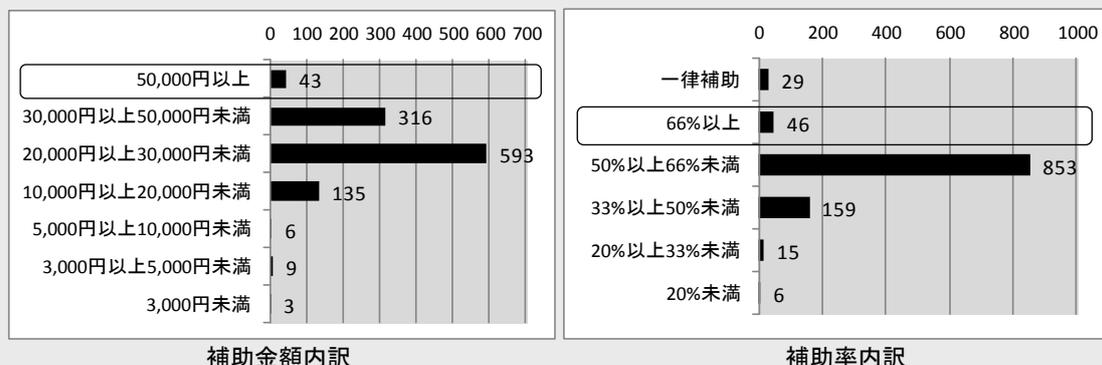
本市の電動生ごみ処理機の補助率は県内1位、補助金額は綾瀬市の60,000円に次いで県内2位となっています。また、補助率75%、補助金額50,000円という補助は全国的に見てもトップレベルとなっています（電動生ごみ処理機のための調査。平成23年度JEMA調べ）。

本アンケートにおいても、補助率・補助金額ともに、「不満」と回答した方は6%ずつとなり、おおむね満足いただいていることがわかりました。

また、「現在の補助金額（率）なら購入すると思うが、補助金額（率）が下がったら購入しないと思う」と回答した方が42%いることから、高額な生ごみ処理容器等の購入にあたっては、本市の高い補助率・補助金額が不可欠であり、ごみの減量化、資源化を推進するために生ごみ処理容器等の購入を推進していくのであれば、現在の補助率・補助金額の維持・発展が必要であるということがわかりました。

JEMA（日本電機工業会）の調査について

JEMAでは、「家庭用電気生ごみ処理機」の助成実態について、全国の自治体に電話アンケートを行っています。直近では平成23年4月（岩手、宮城、福島は9月末）に調査をしています。



上表の通り、補助率75%、補助金額50,000円という補助は、全国的にトップレベルであるということがわかります（表中の囲み部分が本市該当部分）。

(3) 補助制度の手続きについて

申請方法が「わかりにくかった」と感じた方が8%、申請から補助金交付までの期間が「長かった」「少し長かった」と感じた方が23%います。公金による補助制度のため、一定の手続きと期間は必要ですが、処理期間の一層の短縮に心がけます。

(4) 補助制度の有効性について

生ごみ処理容器等がごみの減量化、資源化に「有効である」「多少有効である」と回答した方が85%おり、また、そのうち98%の方が、ごみの減量化、資源化の普及に本補助制度が「役立つ」「多少役立つ」と回答しています。

また、購入のきっかけとして「補助制度があるため」を挙げた方は「ごみを減量化したい」を挙げた方に次いで多く、補助制度が無ければ「購入していないと思う」方も55%いました。

このことから、本補助制度が、ごみの減量化、資源化に有効であることがわかりました。

また、補助制度を知ってごみの減量化、資源化への関心が「非常に高まった」「高まった」との回答が74%あることから、補助制度がごみの減量化、資源化への啓発にも有効であることがわかりました。

2. 機器について

(1) 機器の購入について

機器の購入先は「市内家電販売店」が60人と最も多く、次いで「市内ホームセンター」「市外家電量販店」となっていました。また、インターネットで購入された方も16名いました。選択肢以外の回答では、「知人の紹介」「JA」等がありました。

製品の選定理由については、「性能」が最も多く、次いで「金額」「使いやすさ」となっていました。前回調査では「使いやすさ」が「金額」を上回っていたのですが、今回の調査では逆転しています。コンポストとガーデンシュレッダーでは選定理由に「金額」を挙げた方が最も多くなっているなど、機器の選定にあたっては、維持費等を含んだコストパフォーマンスを重視する方が増えてきていることがわかりました。

(2) 機器の利用について

機器の利用状況について調査したところ、21%の方が現在は利用していないと回答しました。「壊れて使えない」という理由の他、使ってみると思ったより減容化できない、使い勝手が悪いなどの理由で使わなくなった方も「壊れて使えない」とほぼ同数いました。

実際に使用されている方に絞って利用状況を見ると、コンポスト・電動生ごみ処理機では「毎日」「週に1、2回」と回答した方が86%を占めました。頻繁に少しずつ処理をしている方が多いようです。一方、ガーデンシュレッダーは、ほぼ全員が「年に数回」「月に1、2回」とのことでした。

1回の処理量は、「100g～200g未満/10本～50本未満」が最も多く、次いで「200g～400g未満/50本～100本未満」という結果で、全体の76%でした。前回調査では「200g～400g未満/50本～100本未満」が最も多いという結果だったのですが、少量ずつ処理をする方が増えたようです。

減容量については、「約1/4」が36%で最も多く、「約1/3」が30%、「約1/2」が18%でした。「その他」でもほとんどの方が80%以上減容化できていると回答していて、中には「20年以上、生ごみ、草、枯葉などゴミとして出していない」という回答もありました。機器の使用による減容化はかなり進んでいることがわかりました。

できあがった生成物は、「家庭菜園等での肥料」として自己処理されている方が60人と最も多

く、次いで「花壇、プランター等での肥料」という結果でした。また、特にコンポストにおいては「ごみとして排出」している方が一人もいないなど、生成物の活用が非常に進んでいることがわかりました。

3. 個別の質問について

(1) 機器から出るニオイ・音について

コンポストと電動生ごみ処理機を対象にニオイについて、電動生ごみ処理機を対象に音について質問しました。

ニオイが気になる方は26%、音が気になる方は37%いました。機器の性能向上が求められます。

(2) 堆肥の拠点回収について

電動生ごみ処理機を対象に、堆肥を拠点回収で無料回収していることを知っているか質問しました。

結果、76%の方が「知らない」ことがわかりました。

電動生ごみ処理機利用者の35%は生成物をごみとして排出していることから、資源化を推進するため、拠点回収について周知を徹底して参ります。

本アンケートの信頼性について ～統計学上の信頼性～

前述した系統抽出法などを用いて標本を無差別抽出したとしても、その標本が正確に母集団の縮図になっているということではなく、必ず誤差が生じてしまいます。このとき、多くの標本があれば誤差は小さくなり、標本数が少なければ誤差が大きくなる、ということは直観的にわかると思いますが、では、どれくらいの標本数があれば、調査結果が信頼できる程度にまで誤差を抑えることができるのでしょうか。

統計学では、「母集団がXの場合、調査結果の誤差をY%以内にするために必要な標本数」を計算することができます。計算式は省きますが、母集団の数ごとの、誤差5%及び2.5%以内にするために必要な標本の大きさをまとめると下表のようになります。

母数	50	100	1000	10000	無限大
誤差5%	45	80	278	370	384
誤差2.5%	49	94	607	1332	1537

母数と誤差の関係から算出される必要な標本の大きさ

母数が小さい場合には、誤差を小さくするためにはほとんどの人から統計を取らなければいけません（例えば母数50の場合、90%の45人から統計を取る必要があります）が、逆に母数が大きくなって必要な標本数はさほど大きくなりません。また、母数が大きい場合、誤差5%であれば約400標本あればいいのに対し、誤差2.5%まで極めようとする必要と必要な標本数は約4倍必要になります。

一般的な統計調査においては、誤差5%以内とするのが標準的なようです。そのため、標本数が400程度あれば誤差を5%以内に収めることができ、信頼できる統計結果だと言えます。

本アンケートの回答数は176件でしたので、誤差5%の場合の半分以下の標本数であり、統計学的には「やや誤差が出る可能性のある結果」だと言えます。また、誤差5%（標本数400）を達成するためには、今回のアンケート回答率58.7%を想定すると、682人にアンケート依頼をする必要があります。本アンケートでは300人に依頼を行いましたので、倍以上の人数に対してアンケートを依頼しないと、統計学的に見た正確性は得られない、ということになります。

Ⅲ. アンケート結果分析

アンケート結果の概要は先述した通りですが、ここでは、複数の設問の関係性から見た分析結果について報告します。

なお、煩雑さを避けるため、無回答や「その他」の回答などは除いています。

1. 機器の利用と減容率の関係

機器の利用頻度と減容率の関係についてまとめました。回答は下表の通りです。

		減容量				計
		約1/2	約1/3	約1/4	それ以上	
利用頻度	毎日	6.6%	8.1%	12.5%	10.3%	37.5%
	週に1、2回	6.6%	15.5%	5.8%	3.7%	31.6%
	月に1、2回	0.0%	0.0%	5.1%	0.7%	5.8%
	年に数回	1.4%	5.1%	4.4%	2.1%	13.0%
	使っていない	0.7%	1.4%	2.9%	0.7%	5.7%
	壊れて使えない	2.1%	1.4%	2.9%	0.0%	6.4%
	計	17.4%	31.5%	33.6%	17.5%	100.0%

機器の利用頻度と減容率の関係について

機器の利用は「毎日」「週に1、2回」が多いですが、減容率には若干の差があるようです。「毎日」の場合、最も多い回答は「約1/4」でしたが、「週に1、2回」の場合、最も多い回答は「約1/3」でした。このことから、利用頻度を上げることが減容化に効果があることがわかりました。

また、1回の処理量と減容率の関係についてもまとめてみました。回答は下表の通りです。

		減容量				計
		約1/2	約1/3	約1/4	それ以上	
処理量	100g未満	20.0%	10.0%	50.0%	20.0%	100.0%
	100g～200g未満	11.1%	38.9%	37.0%	13.0%	100.0%
	200g～400g未満	28.6%	26.2%	21.4%	23.8%	100.0%
	400g以上	15.8%	26.3%	31.6%	26.3%	100.0%

1回の処理量と減容率の関係について

この表を見ると、

「1回の処理量が100g未満の人の減容量は約1/4が最も多い回答」

「1回の処理量が100g～200g未満の人の減容量は約1/3が最も多い回答」

「1回の処理量が200g～400g未満の人の減容量は約1/2が最も多い回答」

となっています。このことから、処理量が少ないほど減容量が高くなることがわかりました。

まとめると、機器の利用にあたっては「毎日、少しずつ処理をすること」が、減容化に最も効果が高いことがわかりました。

2. 機器のニオイや音と再購入について

電動生ごみ処理機やコンポストは思ったよりニオイや音がするので期待外れだった、というご意見をいただくことがあります。そこで、現在機器を使用している方の状況を調べてみました。

下表は、機器のニオイや音と、再購入についての関係をまとめたものです。

ここでは、回答の「ほとんど（まったく）しない」「多少するが気にならない」「かなりするが気にならない」「多少して気になる」「かなりして気になる」の順に深刻度が高くなっていくと考え、ニオイと音のどちらか深刻度が高い方の数値を採用しています。例えば「多少ニオイがするが気にならない」と「多少音がして気になる」という回答をした場合は「多少して気になる」としてカウントしています。

		購入5年経過後もう一度電動生ごみ処理機を購入するか				計
		補助がなくても購入する	補助があれば購入する	補助がなければ購入しない	購入しない	
ニ オ イ ・ 音 は す る か	しない	1	1	3	2	7
	多少するが気にならない	1	13	20	8	42
	かなりするが気にならない	0	2	0	1	3
	多少して気になる	3	4	17	5	29
	かなりして気になる	1	1	5	7	14
	計	6	21	45	23	95

機器のニオイ・音と再購入の関係について（単位：人）

「補助制度のあるなしにかかわらず購入しないと思う」と回答した方23人のうち、「多少して気になる」「かなりして気になる」と回答した方は12人（52.2%）いました。過半数の方が、購入をしないと考えた理由にニオイや音がすることを挙げた、ということになります。

このニオイや音の問題が、電動生ごみ処理機やコンポストすべての機種で起こることなのか、特定の固有の機種の問題なのか、それとも機種の問題ではなく使用者の環境や使用方法の問題なのかは、もっと詳細な調査を行わないと断定はできません。

しかし、電動生ごみ処理機やコンポストについて、どんな機種でも、どんな使い方をして生ごみを減容化してくれるというわけではない、ということは確かなようです。

これらのことから、補助制度や機器の利用の推進をする際には、適切な運用をしないと効果的なごみの減容化はできないこと、前項の結果等もふまえた適切な機器の使用方法などについても積極的に広報していくことが必要であることがわかりました。

3. ごみの減量化・資源化への関心と補助制度について

最後に、「補助制度がない場合の購入」と「ごみの減量化・資源化への関心」の関係についてまとめました。

下表は、両者の関係をまとめたものです。

		補助制度が無くとも購入していたか			計
		購入していた	購入していない	わからない	
関心	非常に高まった	13	15	4	32
	高まった	22	58	15	95
	変わらない	15	22	6	43
	低くなった	0	0	0	0
	かなり低くなった	0	1	0	1
	計	50	96	25	171

「補助制度がない場合の購入」と「ごみの減量化・資源化への関心」の関係について（単位：人）

1人を除く全ての方が、「補助制度を知って、ごみの減量化・資源化への関心」が「非常に高まった」「高まった」「変わらない」と回答しています。また、補助制度がなければ機器を購入していないと回答した方のうち、実に58人もの方が、「ごみの減量化・資源化への関心が高まった」と回答しています。

調査によると、補助制度があったから機器を買い、実際に使用した結果、ごみの減量化・資源化への関心が高まったという方が一番多かったという結果が出ました。これにより、本補助制度は、ごみの減量化・資源化の啓発に寄与していることがわかりました。

IV. 各設問ごと結果

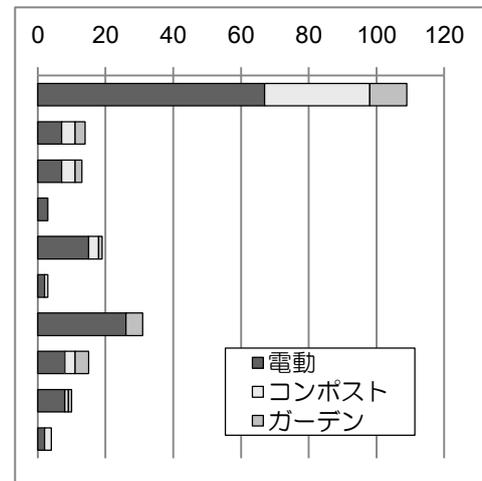
ここでは、実施したアンケートの設問ごとの結果についてまとめました。

「その他」等を選択していただいた場合の自由記入回答は欄外にまとめてあります。なお、その際、同様の回答についてはまとめさせていただきました（例：農協とJA）。

また、電動生ごみ処理機、生ごみ処理容器（コンポスト）、ガーデンシュレッダーをまとめて「各機器」と称しています。

1. 補助制度を、どのような方法で知りましたか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
広報やまと	67	31	11	109
市ホームページ	7	4	3	14
自治会回覧	7	4	2	13
公共施設設置チラシ	3	0	0	3
口コミ	15	3	1	19
ごみ関係の説明会	2	1	0	3
販売店等の宣伝	26	0	5	31
資源とごみのパンフレット（市配布）	8	3	4	15
その他	7	0	0	7
無回答	2	2	0	4
計	144	48	26	218

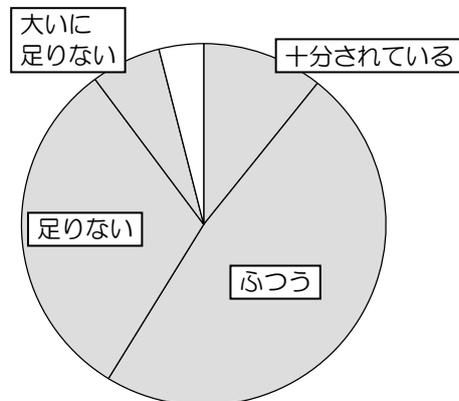


▼その他

- ・知人
- ・テレビ
- ・産業まつり
- ・市民まつり
- ・販売員から聞いた
- ・JAで宣伝していたのを見た

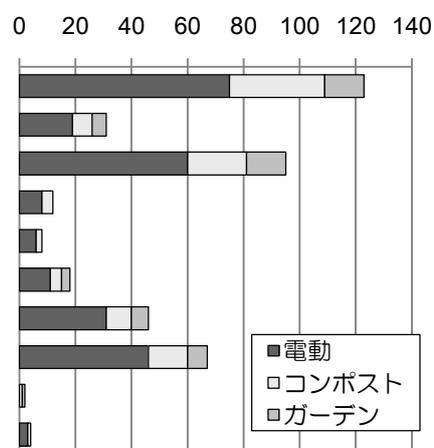
2. 補助制度のPR（周知）は十分なされていると思いますか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
十分されている	10	6	3	19
ふつう	48	24	13	85
足りない	43	7	5	55
大いに足りない	7	3	1	11
無回答	5	2	0	7
計	113	42	22	177



3. 補助制度のPR（周知）について、有効だと思う方法を選んでください

	電動	コンポスト	ガーデン	計
広報やまと	75	34	14	123
市ホームページ	19	7	5	31
自治会回覧	60	21	14	95
公共施設設置チラシ	8	4	0	12
やまとPSメール	6	2	0	8
イベント等でのチラシ配布	11	4	3	18
販売店へのチラシ設置	31	9	6	46
資源とごみのパンフレット（市配布）	46	14	7	67
その他	0	1	1	2
無回答	3	1	0	4
計	259	97	50	406

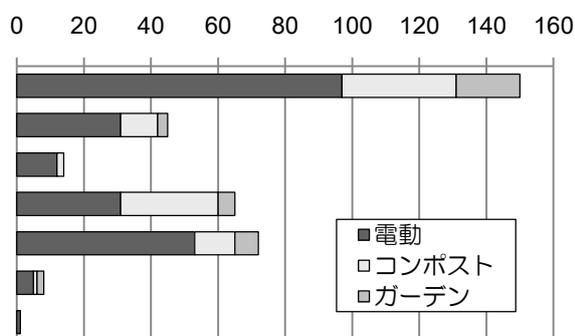


▼その他

- ・他市のアンケート
- ・ごみ回収時に剪定枝を出している家にパンフレットを入れる

4. 各機器を購入しようと思ったきっかけは、どのような理由からですか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
ごみを減量化したい	97	34	19	150
環境問題に関心がある	31	11	3	45
カラス・猫対策のため	12	2		14
成果物を利用したい	31	29	5	65
補助金制度があるため	53	12	7	72
その他	5	1	2	8
無回答	1	0	0	1
計	230	89	36	355

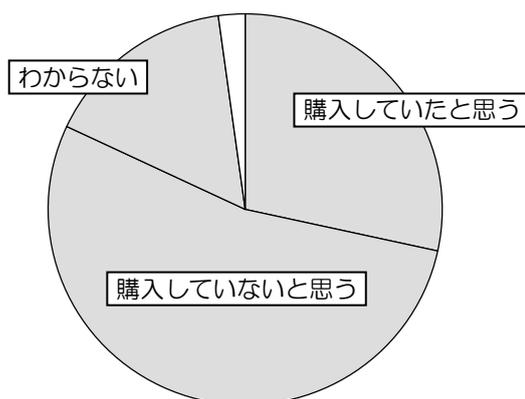


▼その他

- ・販売員に勧められて
- ・販売店の売り込み
- ・市民まつりで
- ・ゴミ袋が有料になったから
- ・悪臭を軽減できる
- ・夏場の虫発生予防
- ・菜園の肥料にしたい
- ・枝切りを人手でやるのが大変だから

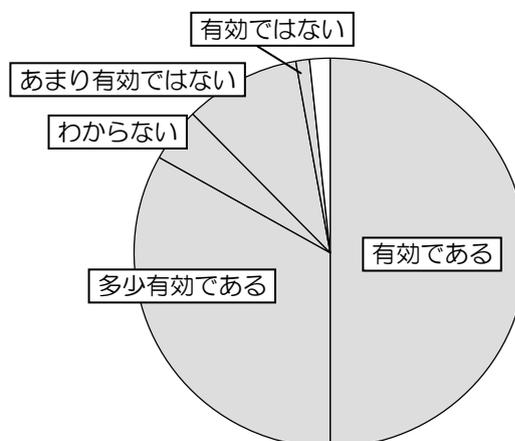
5. 補助制度が無くても各機器を購入していたと思いますか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
購入していたと思う	18	24	10	52
購入していないと思う	74	11	13	98
わからない	18	6	5	29
無回答	3	1	0	4
計	113	42	28	183



6. 各機器はごみの減量化、資源化に対して有効だと思いますか

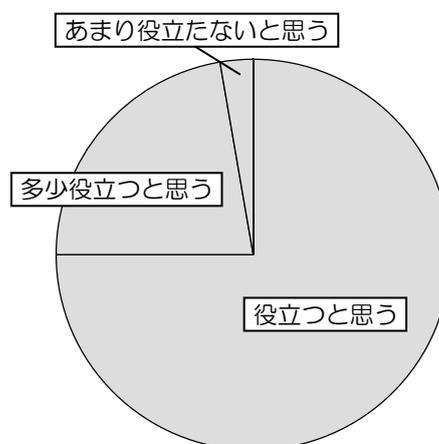
	電動	コンポスト	ガーデン	計
有効である	49	26	14	89
多少有効である	40	12	7	59
わからない	6	1	1	8
あまり有効ではない	15	2	0	17
有効ではない	2	0	0	2
無回答	1	1	0	2
計	113	42	22	177



(6. で「有効である」「多少有効である」と回答した方への質問)

6-1. ごみの減量化、資源化の普及・啓発に、補助制度は役立つと思いますか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
役立つと思う	65	31	15	111
多少役立つと思う	22	6	5	33
あまり役立たないと思う	2	1	1	4
役立たないと思う	0	0	0	0
わからない	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0
計	89	38	21	148



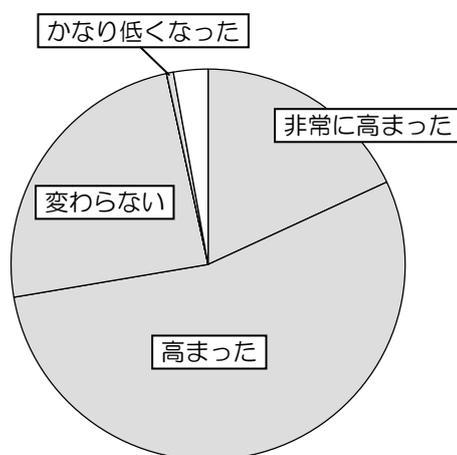
（6. で「有効ではない」「あまり有効ではない」と回答した方への質問）

6-2. 有効でないと思う理由を教えてください

- ・ 処理に時間がかかる
- ・ 電気代がかかる（節電のため）
- ・ 処理できるものが限られている
- ・ 家族数が少ないため
- ・ 思ったより堆肥ができない
- ・ 設置をするスペースがないので使うことができないのではないか
- ・ もっと研究すればいいのに……と思います
- ・ コストが掛かる
- ・ 上手に使うのは難しい
- ・ 生ゴミが少ない。出ないように努力している。
- ・ 処理機がいい品ではない
- ・ 減量化はできるが、資源化には他の制度が必要
- ・ 手間が掛かる

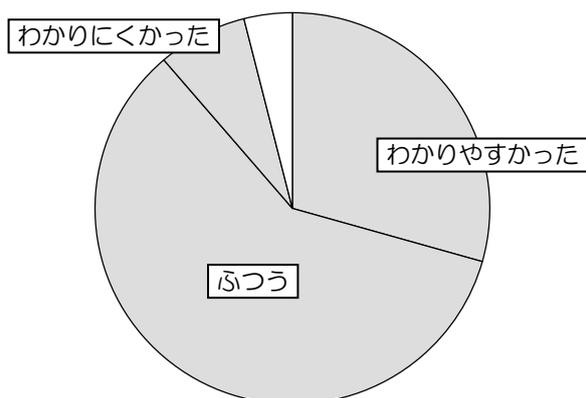
7. 補助制度を知って、ごみの減量化、資源化の関心は高まりましたか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
非常に高まった	25	6	1	32
高まった	59	20	17	96
変わらない	25	14	4	43
低くなった	0	0	0	0
かなり低くなった	0	1	0	1
無回答	4	1	0	5
計	113	42	22	177



8. 補助制度の申請方法や必要書類についてどう思いましたか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
わかりやすかった	31	12	9	52
ふつう	70	22	13	105
わかりにくかった	8	5	0	13
無回答	4	3	0	7
計	113	42	22	177

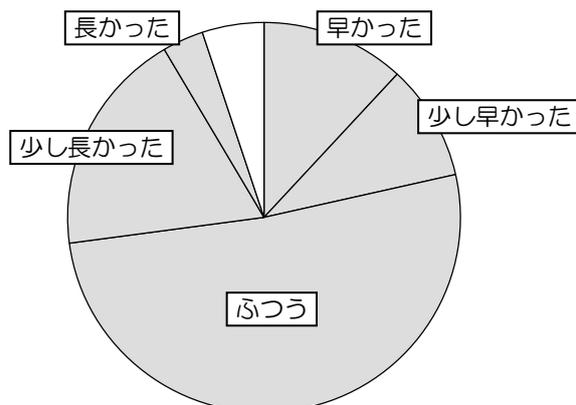


▼わかりにくかった理由

- ・ 市役所に問合せしないとわからなかった
- ・ 書類がわかりづらい
- ・ 手続き（出し方など）
- ・ 補助が出ないものが判りづらい
- ・ 他市では良かった
- ・ 書類が多い気がする。領収証のみでよいのでは

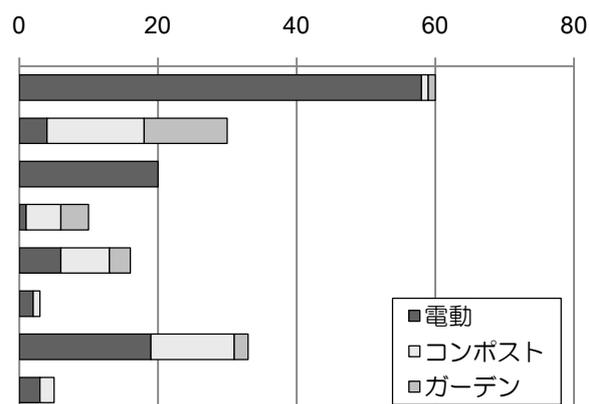
9. 申請から補助金交付までの期間についてどう思いましたか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
早かった	12	5	4	21
少し早かった	12	4	1	17
ふつう	58	20	13	91
少し長かった	24	6	3	33
長かった	3	3	0	6
無回答	4	4	1	9
計	113	42	22	177



10. 各機器の購入先はどのようなところですか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
市内家電販売店	58	1	1	60
市内ホームセンター	4	14	12	30
市外家電販売店	20	0	0	20
市外ホームセンター	1	5	4	10
インターネット	6	7	3	16
テレビショッピング	2	1	0	3
その他	19	12	2	33
無回答	3	2	0	5
計	113	42	22	177

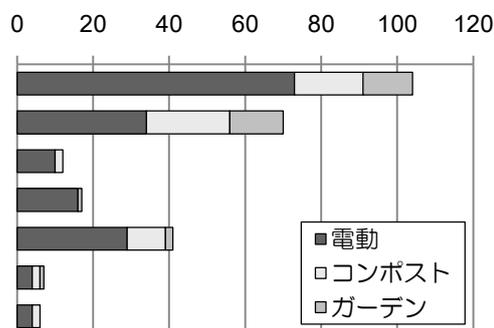


▼その他

- ・産業まつり会場
- ・本の紹介
- ・知人の紹介
- ・販売店の訪問
- ・市内販売店
- ・市内工務店
- ・ミシン販売店
- ・JA
- ・生協
- ・郵便局
- ・ユザワヤ

11. さまざまな種類がある中、購入した各機器を選んだ理由は何ですか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
性能（容量）	73	18	13	104
金額（維持費含）	34	22	14	70
デザイン	10	2	0	12
販売店の接客	16	0	1	17
使いやすさ	29	10	2	41
その他	4	2	1	7
無回答	4	2	0	6
計	170	56	31	257

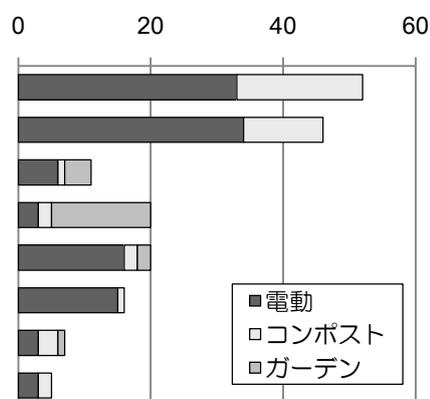


▼その他

- ・知人の紹介
- ・選べるほど機種はなかったと思う
- ・農協ではこれしかなかった

12. 現在の、各機器の利用頻度はどのくらいですか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
1 毎日利用している	33	19	0	52
2 週に1、2回	34	12	0	46
3 月に1、2回	6	1	4	11
4 年に数回	3	2	15	20
5 使っていない	16	2	2	20
6 壊れて使えない	15	1	0	16
7 その他	3	3	1	7
無回答	3	2	0	5
計	113	42	22	177

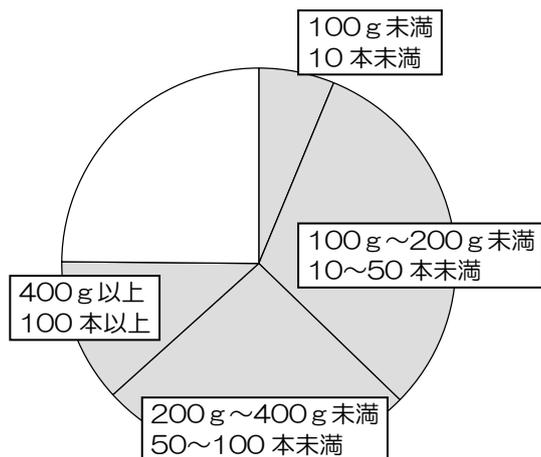


▼その他

- ・週5回
- ・週3～4回
- ・2日に1回
- ・2週間に1、2回
- ・現在はいっぱいになってしまい使えない
- ・1回だけ

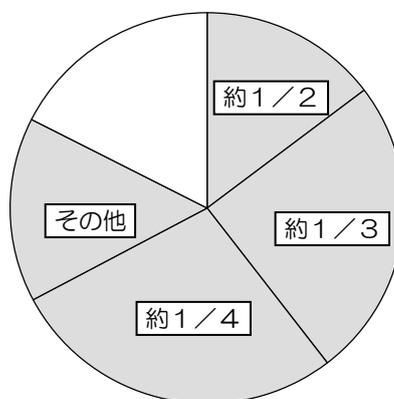
13. 現在は、各機器で1日にどのくらいの生ごみを処理していますか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
100g未満/10本未満	9	1	1	11
100g~200g未満/10~50本未満	32	17	6	55
200g~400g未満/50~100本未満	27	12	7	46
400g以上/100本以上	10	6	5	21
無回答	35	6	3	44
計	113	42	22	177



14. 各機器を使用してから生ごみの量はどのくらい減ったと思いますか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
約1/2	17	7	2	26
約1/3	29	9	6	44
約1/4	36	6	7	49
その他	11	14	2	27
無回答	20	6	5	31
計	113	42	22	177



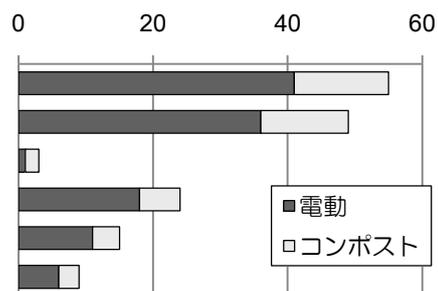
▼その他

- ・100% ・90% ・1/8 ・1/5 ・3/4 ・2/3 ・1/4以上
- ・ほとんど出ない ・もっと減っていると思う
- ・ほとんど減らない ・判らない ・使用していない

(電動生ごみ処理機・生ごみ処理容器(コンポスト)利用者のみ質問)

15. 各機器から出るニオイはどうですか

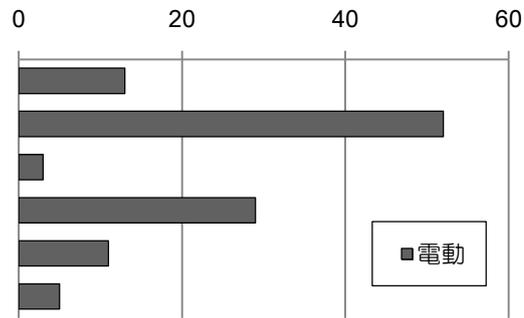
	電動	コンポスト	計
ほとんど(まったく)ニオイがしない	41	14	55
多少ニオイがするが気にならない	36	13	49
かなりニオイがするが気にならない	1	2	3
多少ニオイがして気になる	18	6	24
かなりニオイがして気になる	11	4	15
無回答	6	3	9
計	113	42	155



(電動生ごみ処理機利用者のみ質問)

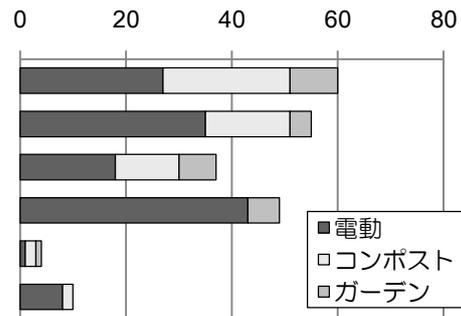
16. 電動生ごみ処理機から出る音はどうか

	電動
ほとんど(まったく)音がしない	13
多少音がするが気にならない	52
かなり音がするが気にならない	3
多少音がして気になる	29
かなり音がして気になる	11
無回答	5
計	113



17. 各機器で処理したあとの生成物はどのように処理していますか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
家庭菜園等での肥料	27	24	9	60
花壇、プランター等での肥料	35	16	4	55
庭に撒く	18	12	7	37
ごみとして排出	43	0	6	49
その他	1	2	1	4
無回答	8	2	0	10
計	132	56	27	215



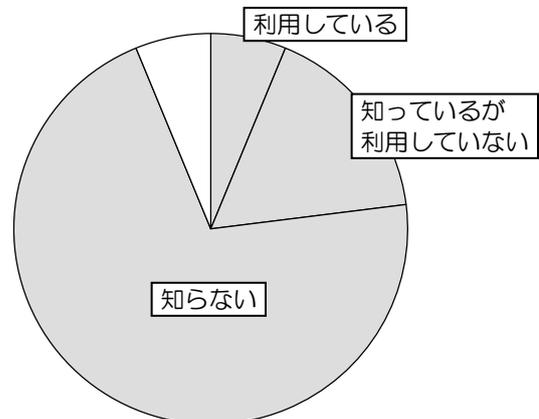
▼その他

- ・生成物はない
- ・使用していない

(電動生ごみ処理機利用者のみ質問)

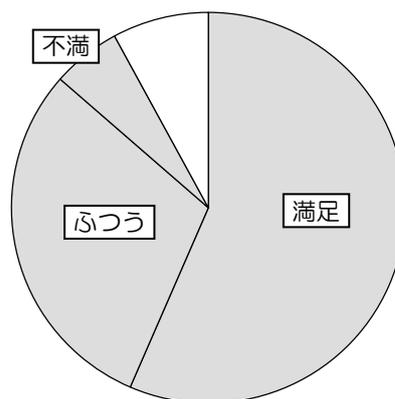
18. 生成された生ごみ堆肥を資源の拠点回収で回収していることを知っていますか

	電動
利用している	7
知っているが利用していない	19
知らない	80
無回答	7
計	113



19. 各機器の補助率についてどう思いましたか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
満足	59	25	16	100
ふつう	39	9	5	53
不満	7	2	1	10
無回答	8	6	0	14
計	113	42	22	177

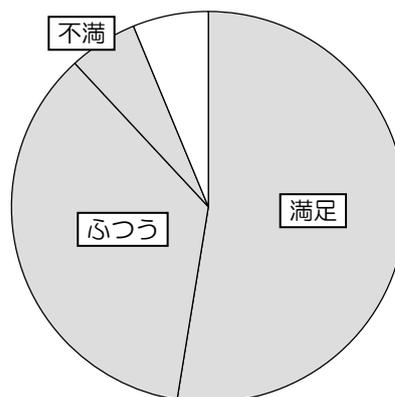


▼何%ならいいですか

- ・ 100%
- ・ 90%
- ・ 80%
- ・ 税金を使うべきではない

20. 各機器の補助金交付額についてどう思いましたか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
満足	63	15	15	93
ふつう	38	19	6	63
不満	5	5	0	10
無回答	7	3	1	11
計	113	42	22	177

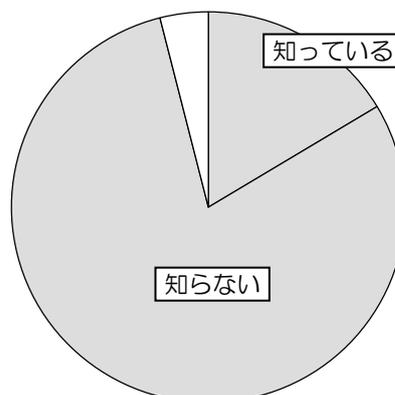


▼いくらならいいですか

- ・ 全額
- ・ 10万円
- ・ 6万円
- ・ 1万円 (コンポスト)
- ・ 税金を使うべきではない

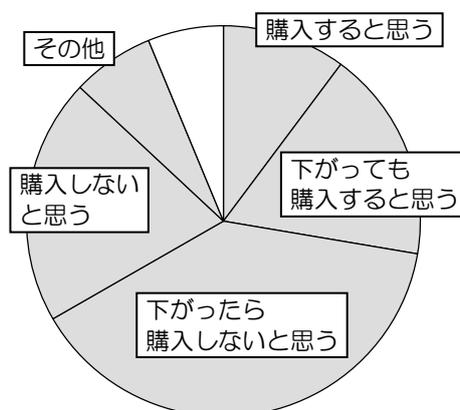
21. 補助制度は、対象機器を購入後5年を経過すると再度利用できます (各機器を買い替える場合に、再度補助制度が利用できます)。このことを知っていますか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
知っている	16	10	3	29
知らない	93	29	19	141
無回答	4	3	0	7
計	113	42	22	177



22. お手持ちの電動生ごみ処理機の購入後5年が経過した場合、もう一度各機器を購入しますか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
購入と思う	6	10	2	18
補助金額が下がっても購入と思う	21	5	5	31
補助金額が下がったら購入しないと思う	45	16	8	69
購入しないと思う	27	6	3	36
その他	8	0	4	12
無回答	6	5	0	11
計	113	42	22	177



▼その他

- ・補助制度があり、ニオイと音がしないものがあり、成果物を無料で個別収集してくれれば買う
- ・外で使用できて節電タイプでいいものがあれば補助金がなくても購入する
- ・今までよりいい機械があれば購入する
- ・性能のいいものを買おうと思う
- ・故障したら購入する
- ・故障して使えなくなった場合、現在の補助金額で再購入したい
- ・まだ使えるかどうかによる
- ・わからない
- ・すでに2台目を購入した

V. 自由記入欄一覧

ここでは、いただいた自由意見についてまとめました。

基本的には記入していただいた内容をそのまま記載していますが、誤字等は修正しました。また、機種名・店名等が記載されているものについては、その部分のみ修正しました。

1. 電動生ごみ処理機利用者

- ・ 多人数の家や生ゴミの多く出る家庭では生ゴミ処理機は有効だと思う。停電時の対応策をPRしたら利用する家庭は増えると思う。
- ・ 処理に時間がかかりすぎ短時間でできれば大いに賛成。
- ・ 夏場はニオイが特にすごい。補助用バイオ材（消耗品）の購入補助金の支給を検討してください。
- ・ 年末に偶然、処理した生ゴミを普段と違う場所・日時に回収していることを知りました。それまで、友人から可燃ごみの日に普通の袋で出せると聞いていた（購入理由の一つ）ので、購入前に出していました。ゴミ減量化のためとはいえ、購入費と電気代をかけ、1回3～5時間くらいの処理時間中の音とニオイをガマンして、さらに遠くの回収場所に捨てに行かなければならないのでは、普及はしないのでは、と思う。
- ・ PRについて、スタート時はよかったがその後は全然足りていない。
- ・ もっと手順を簡単にすることができるとよい。
- ・ 生ごみ堆肥を、拠点回収のみではなく、もっと機会を増やしてほしい。自宅では使用しきれず、堆肥なのにただの一般ごみと一緒に出すのがもったいない気がする。
- ・ ベランダに置いていますが、ニオイが気になる（夏は特にきつい）。生ゴミを出さないように努力していれば電動生ゴミ処理機は特に必要ないと思う。
- ・ 申請してから早く補助金を交付してもらいたい。
- ・ 他の電化製品に比べて高い。大和市でメーカーと共同開発し、安く販売できたら全額補助できると思う。ゴミの削減にもつながり環境にもよいのではないのでしょうか。
- ・ ①もっと短時間でできないか（メーカーの問題？）②電気代も上がり気味で家計に対してバカにならない③もっと短時間で手軽に使用できれば、結構使用する人間が多くなる
- ・ お正月などの長期にわたりゴミ回収の来ない時期にはとっても便利で、ニオイもなく衛生的です。一軒でも多くの人の利用を望みます。生ゴミがなければ週2回5リットルの袋でOKです。
- ・ ゴミ回収に出すゴミが半減し、プランター等に使う肥料も買わずに済んで助かっています。
- ・ 節電のため、再購入はしないと思います。
- ・ 生ゴミが少ないため、カラス対策に効果がある。
- ・ 節電対策で使用を控えていたら、以前よりニオイが気になるようになり、今はほとんど使っていません。
- ・ 補助金制度はこれからも必要だと思います。処理に3時間もかかるので、処理機の性能を改善してほしいです。
- ・ 震災後は、節電のため使っているものかどうか悩み、どうなのかと考える面もありました。
- ・ 補助金制度がある間にとまって購入したが、家族数が少ないため、ごみも少なく、あまり活用できてなかった。2、3度使って、あとは使用していない。夜遅くに稼働させるため、マンション等では音がどうか。わからないが気になる。
- ・ 税金を使ってまで補助金を出す必要はない。大和市民が利用するリサイクルステーションの整備事業を強化してほしい。

- ・ 製造メーカーの数が少なくなっている。国や自治体などが補助するなどしてこの事業を広めていってほしい。
- ・ 電動生ゴミ処理機より前のコンポストを使用しているのだが、この方が堆肥も十分できて良いように思っています。
- ・ 補助制度の認知度が低いと思います。電動生ゴミ処理機の性能や使いやすさがもっと良くなる必要もあると思います。
- ・ 生ゴミを細かく切らないとよくできませんので高齢になりますと面倒で庭のコンポストで処理することになります。今はよくなりましたか？
- ・ 音については、電気代が安くなる23時過ぎに利用しているので気にならない。何年か前、補助金交付を受けるのにすごい順番待ちということを知りましたが今はどうなのでしょう。生ゴミ処理機を利用すると本当に生ゴミの量が減ります。ぜひ普及してほしいですが、設置するスペースがないとなかなか難しいかもしれません。
- ・ 私が購入した機種は微生物を利用したもので、そのことに関心があったが、結果的にこれは失敗だったと思っている。微生物は生き物であるため、機械的なもののように正確には動かない。説明書の通りにゴミを投入してもすぐ微生物がダメになってしまう。使い方のコツを習得するまで2年くらいかかって、何度も微生物の全量入替を行った。一応順調に動き出したあとも、処理能力が予想の半分以下であった。そして1年ほど前にキーキーと音がするようになり、販売店に電話すると、すでに取り扱いをやめていて修理も製造した工場に直接電話してくれと言われた。結局、その時点で使用を停止した。この機種が今でも補助金の対象になっているのなら外してほしい。補助金の対象にする前に、対象機器をよく調査してほしい。そうしないと税金の無駄使いになる。
- ・ 節電のため使えない。
- ・ 実際には、夏場利用時に温風がかなり出るので、昨夏みたいに節電の際には利用したくない。
- ・ 追加の土がすごく高いのに驚いた。購入したあと、何年か後に使わなくなったという人が多数いる。
- ・ ゴミ袋の有料化に伴う施策として良かったと思います。メーカーの処理機のバリエーションが少ないのが気になりますが……。
- ・ 家の中でニオイが気になり、ベランダで使用していましたが、そのままになってしまい使用できなくなってしまいました……。5年経過したら、再度補助制度を利用できるならもう一度購入したいです。このアンケートで知れてよかったです。
- ・ 私は補助制度は賛成しません。1年位前だったと思いますが、きしむような音が出始めだんだんとひどくなり、購入した店で土を全部出したりしてみてもらったのですが、少し良くなったかと思ったのも束の間、またまた大きな音が出るようになり、とても使えた代物ではないので放ってあります。処理できる量も、1～2人世帯ならいいでしょうけど4～5人の家族では処理できません。この制度ができてすぐに購入したのですが、今でもずっと上手に使っている世帯が何軒あるのかと思っています。やはりそれなりの大きな企業の製品でないダメなのかも思ったりしています。自分にとっても市にとっても無駄使いです。
- ・ 1～1、5年くらいで壊れてしまったのでもう購入したくない。
- ・ 電気使用量が多く省エネにはならないので、低電力の機器がないと意味をなさないと思う。家庭の電気使用料の負担が多くなる。
- ・ 引き続き継続してほしい事業のNo.1です・
- ・ 購入後一度修理したので、新しく買い替えたいと思います。
- ・ 補助金を受け電動生ゴミ処理機を使ってみました壊れてしまったので、今はコンポストを使っています。夏は虫が発生しますので入れる物が限られますが、電気も使いませんのでこれで十分だと思います。補助金を使い本当に申し訳ないと思っています。

- ・今は一人の生活になってしまったので生ゴミの量が少なくなり処理機はほとんど使用していません。それに電気代が高いので……。
- ・ゴミよりも最近では電気の使用量が気になります。節電に反している気がします。
- ・実際には5年以内に故障する確率が高い。二度故障して部品を取り替えた。
- ・電気料金もかかるので補助金を多くしてほしいです。夏場の衛生面もとっても良いと思います。
- ・生ごみの量もとっても少ないです。現在壊れて使えないので、5年間過ぎるのを待っています。
- ・処理機を購入してから、なるべく5リットルの袋で出せるようにしています。我が家の場合は2Fがキッチンで、夏、生ゴミのニオイが気になっていたところ、息子から補助制度があるのを聞いて購入しました。お茶の葉も干してカラカラにしてから処理機に入れてます。5年で使えなくなるとは思えないので、8～10年くらいでいいのではないですか。
- ・とてもよい制度です。カラスやネコ被害を見るたび、山のような生ごみを見るたび、他の人も利用すればいいのに、と思います。
- ・市行政が責任を持って指定販売店にする。販売メーカーは品物を売りっぱなしでアフターケアも電話もつながらない（保証期間中なのにデモ用のを設置し取り替えもしない）。前に環境管理センターにいいかげんな業者なので文句を言ったが、対応してくれないので撤去した。ふざけるなど言いたい。
- ・購入した頃、よく紹介されていて興味を持ち、販売店へ行き説明を受けた。室内でも音もニオイも問題ないとのことで、実際に処理するところを見て購入した。が、実際にはニオイがひどく外へ出した（音は気にならなかった）。現実には生ゴミは野菜クズが多く、そのまま処理機に投入できない（大きすぎるとダメ。細かく切ってさらに熱を加えたものが処理しやすい）。弁当、惣菜の残りなどはいいかもしれないが……。かなり注意しながら使ったが、1年つかった稼動が、ベトベトになってしまった。ゴミの減量には役に立たなかった。結果、税金のムダ使いをしてしまい心苦しい。今度混入する時は、もっと簡単に使えて、処理能力の大きいものを選びたいと思います。（今の機種は）もったいないがもう一度使おうとは思えない。
- ・夏のスイカの皮とか、処理の仕方が本当にわかりません（みなさんも使用してみて教えてください）。電気代を減した方がいいものかごみを減した方がいいものか。7万円くらいのものを買いましたが、補助は半分くらいでいいと思います（税金を使っては申し訳ないから）。
- ・平成17年に購入しましたが、補助金もすぐにいただきましたが、魚・野菜一緒にできず面倒ですぐにやめました。音が気になりました。現在は使ってないです。
- ・補助制度が再度利用できるようになったとき、連絡がほしい。
- ・台所に置き、電力を考え寝る時にスイッチを入れてました。冬にゴキブリが出ました。毎年、夏バルサンを使用しています。変わったことは、ごみ処理機の使用で、気になり途中で起き台所の戸を開けたとき、処理熱で部屋中ムウーっというニオイがしていました。ゴキブリが出てきそうな部屋でした（イヤなニオイ）。それからは重いですが使用するときには外に出しています。回収日にゴミに出す、処理機で処理が半々くらい。回収日まで生ごみを入れっぱなしにしておくで使用ニオイが外に漏れず良いです（特に夏）。ごみの種類によってにおいが強いときがあります。今、節電を考えると購入するかは迷います。
- ・資源化するゴミについて、啓蒙する必要あり（仕分け・目的など）。
- ・他の市に比べ補助金交付の金額（率）が高くて、大和市がゴミ対策に力を入れていることがよくわかった。
- ・生ごみをうまく処理できず、繊維がからみついて機械が動かずニオイが強くなりました。それを直すのに大変で、何度も動かなくなり、今では使っていません。簡単に使えると思っていましたが、ゴミも生き物で使いこなせませんでした。ゴミ袋に入れるゴミを減らすべく減量中で

す。素人には使いこなせません。

- ・PRパンフレットでは相当量処理でき、生ゴミとして出さなくて済むと思っていたが、実態は台所で使う三角コーナー半分くらいしか処理できず、24時間モーターを回している面と、高額な割に処理能力が少なくまた故障が多く、期待したほどではなく、補助金がなければ今後は買わない。生ゴミの種類により（粘着力・大きさ）機械が動かなくなります。市で性能テストをした上で、推奨品指定してほしい。
- ・補助制度のない自治体の方は、生ごみ処理機があることは知っていても、機器の高額さと、燃えるごみが無料で出せていることから、ほとんど購入するメリットを感じていない。国として本当に環境問題に取り組む姿勢を示すならば、処理機の普及のため、本体価格自体を下げ、稼働時の電力消費を減らす開発補助をすべきだと思う。
- ・我家では5年未満で運が悪く故障して買い替えましたが、5年経過後に買い替えてまた補助があるのはありがたいので、この制度をぜひ継続してほしいです。
- ・堆肥をもっと捨てやすい回収方法にしてほしいです。捨て損ねるたびに使用が減って、今は使っていません。
- ・3.11があり、原発の問題により、電気を使わないように心がけています。購入は今後しません。
- ・補助されても安いものではありませんし、電気代もかかります。環境問題が気にならない家庭ではディスポージャー補助の方が手間がなくうれしい。利用世帯が少ないと感じるのは、ディスポージャーを使用している方が意外に多いのかもしれないですね。
- ・電動生ごみ処理機の有効利用に努めたい（利用頻度を上げたい）が、電気使用量との兼ね合い（節電）で、利用回数を制限すべきか、いつも考えてしまいます。環境問題の視点から、どちらがベストか迷ってしまいます。
- ・税金の使い道を考え直して、補助金制度はいらないと思う。子供や若年層の年金対策に検討し直してほしい。

2. 生ごみ処理容器（コンポスト）利用者

- ・肥料として使用するまでの間に時間がかかるので2個並べて一杯になってきたら隣へ移して天地返しして全体が完熟してから出して肥料として使用する。
- ・この頃、ホームセンターに現品の在庫がない。どこで買ったらいいか判らない。
- ・最初に2個買うべきでした。交互に使わないと半年使えないというのが使ってみて判りました。また、使ってみて、生ごみが肥料になる時間がかかりすぎです。あまり効率のよいものではないということが判りました。
- ・公共施設にまだ不足。回収したのも広地でコンポスト処理したらどうか。先進市町村を目指してほしい。
- ・初夏から夏にかけてコンポストの中に虫が湧いて困ります。生ゴミ発酵促進剤、黒土などを買ってまいたりしていますが、何かよい方法はありますか教えてください。
- ・コンポストを敷地に置くスペースがない（庭が狭いため）。家庭菜園等ができなくなると使わない。
- ・補助金制度大いにお願いします。一度に二つ購入できるともったいいです。コンポストのフタだけが壊れてしまいました。その時、フタだけはないと言われ困りました。フタの裏にある虫除けの薬を入れるところが硬くて外せなくなってしまいました。高齢者にも簡単に使えるようだといいですね。
- ・冬期は虫のニオイがないのでいいのですが、夏期は薬を入れても敷地が狭いので大変です。私は幸い広いので100%利用できます。
- ・コンポストの補助制度ができてすぐ購入し、今使用しているものは2個目です。もう少し普及

すればゴミの減量はかなり進むと思います

- ・購入時に自動的に引いてもらえると良い。
- ・ニオイと虫の発生には苦慮している。減量のため普及させるなら改善を検討すべき。
- ・2個でないとムダになる。なぜ安いものを買うと補助がないのか。ふざけた市である。
- ・生ゴミの堆肥を無料でリサイクル資源として回収して、欲しい人に無料であげる制度があればいいのと思う。
- ・近所では敷地いっぱい家が建っていて、置く場所もなく、できた堆肥も庭が少しなので利用できず、減量を思っている人も現実的にはコンポストを使用するとは無理なので、補助金は他のごみ問題に使った方が良くと思います。
- ・現在は市民農園を借りており、そこで堆肥として使っているけれど、畑がなくなってしまったら堆肥は捨てるしかないのでしょうか……。仙台に住んでいた時には、花の苗やタネと交換してもらえました。こうした楽しみがあれば、よりゴミ減量にも力が入ります。
- ・生ごみ、落ち葉など想像したより少なく堆肥ができない。
- ・毎日生ごみを入れるとベタつく。
- ・ハエ（黒い成虫・幼虫）が発生し、その対策に苦勞して、現在は使っていない。腐敗促進剤の購入費が高い。大木市長のゴミ袋の値下げはどのような効果があったかなかったか、広報で知らせてほしい。
- ・コンポストは2つ以上3つくらいあった方がよい（土になるまで時間がかかるので）と思うので、3基分の補助が一度に出るとよいと思う。
- ・コンポストのうまい使い方を教えてほしい。説明書記載程度ではなかなかうまくいかない（堆肥にならない）。数年苦勞してやっとうまくいったので、コツを知りたい。途中でやめてしまう方も多くいるのではないか。
- ・庭に置くタイプのコンポストを一個購入したが、二個は置くスペースがないので、いっぱいになってくると、中を出すタイミングが（時間）取れないと生ゴミとしてゴミの日に出してしまっている。（忙しいときは一ヶ月くらい）現在の補助金額では、電気を使うタイプの処理機は購入難しいです。
- ・山が東にあるので落ち葉がたくさん出るので、コンポストは2台くらいないと足りないと思う。
- ・昨年、NHKのある番組で、逗子市の市民の皆さんが手作りでゴミ処理、土の再生等が可能な木製の箱を紹介していました。私も主人に同様の物を作ってもらおうとしたのですが、家にあるコンポストを、全て土にして、生ゴミを入れていきます（電気代、バイオ材等のお金はまったくかかりません）。確か逗子市ではその箱の設置援助があるように思いましたが、大和市でも、ぜひ箱の作り方等の情報を広報やまと等で紹介していただければと思います。広い庭であればグリーンコンポストを埋めて利用が可能ですが、猫の額のような我が家では、木材の箱は、見た目もサイズも置場も確かに良いものかと思いました。
- ・最初、小さいものを購入したら補助金の対象とならなかったため、再度大きいものを購入して補助金の申請を行った。現在、大小2個を交互に使用している。

3. ガーデンシュレッダー利用者

- ・家庭用のシュレッダーは、小枝より使用できないため、使用は1回のみ。補助金を交付してまでの効果はないと思います。
- ・市で管理、貸出の方法が良いかと思えます。
- ・ヘッジトリマーやエンジン式チェーンソー等にも適用してほしい。ゴミ収集の際に、木材のサイズが決められているため、丸太などは粉碎しなければならない。収集場に粉碎用の機器を備えてもらえると助かる。問14の意味が不明。重量は変わらない。容積のこと？

- ・最初に買ったバイオタイプはリコールで回収された。バイオ式なら購入したいが、乾燥粉碎タイプならあまり必要ないと思った。補助はいいと思うし、ごみの減量にもなると思うが、ごみ処理機自体が良い商品があまりないと感じる。
- ・私の求めた品は性能的にはあまり細かにならないので、上の商品を求めるには補助金を上げてほしい。
- ・広報不足。特にホームセンターで広報が弱い。協力して広報してください。補助申請について、店の協力を得て、その場で免許証のコピーを取るなどに即対応できるほうが良い。問14の意味が不明。剪定枝をごみとして出す量は減った。
- ・大型シュレッダーの場合、補助金が3万円では少なすぎると思う。
- ・シュレッダーの性能を検証して推奨品をPRしたらと思う。私の購入品は性能が不満足であった。2年ほど前脳梗塞のため庭作業ができなくなったので、現在使用していません。どなたか必要な方がおれば譲ります。
- ・庭木処理の高速化と粉碎物肥料化を考え、宣伝を鵜呑みにし購入したが、あまりにも低能力ですぐ目詰まりし、手でやる程度の時間手間がかかり、初回使用後お蔵入り状態だった。今回、このアンケートが来たので、再度使用した。使用済の朽ちかけたよしずを処理したが、60点（可）であった。インターネットで評価はどうか調べた結果、ディスク式と電動式のものはいよという意見が少なく、エンジン式とギヤ式のはよいという意見も多くインターネット上の動画も多くあった。ただし後者は価格が高い。3～4万円で電動ギヤ式が売っているので、次回はこれに挑戦しようかと考える。電動工具は人力の10～50倍の威力があり、また製品にそれくらいの能力を期待するが、今回品に限っては人力より大幅に劣っていた。

生ごみ処理容器設置費補助金交付事業についてのアンケート

該当する番号に○をつけてください

問1. 生ごみ処理容器等設置費補助金交付制度（以下「補助制度」と言います）を、どのような方法で知りましたか（複数回答可）

1. 広報やまと 2. 市ホームページ 3. 自治会回覧 4. 公共施設設置チラシ 5. ロコミ
6. ごみ関係の説明会 7. 販売店等の宣伝 8. 資源とごみのパンフレット（市配布）
9. その他（ ）

問2. 補助制度のPR（周知）は十分なされていると思いますか

1. 十分されている 2. ふつう 3. 足りない 4. 大いに足りない

問3. 補助制度のPR（周知）について、有効だと思う方法を選んでください（複数回答可）

1. 広報やまと 2. 市ホームページ 3. 自治会回覧 4. 公共施設設置チラシ
5. やまとPSメール 6. イベント等でのチラシ配布 7. 販売店へのチラシ設置
8. 資源とごみのパンフレット（市配布）
9. その他（ ）

問4. 電動生ごみ処理機を購入しようと思ったきっかけは、どのような理由からですか（複数回答可）

1. ごみを減量化したい 2. 環境問題に関心がある 3. カラス・猫対策のため
4. 成果物（堆肥）を利用したい 5. 補助金制度があるため
6. その他（ ）

問5. 補助制度が無くても電動生ごみ処理機を購入していたと思いますか

1. 購入していたと思う 2. 購入していないと思う 3. わからない

問6. 電動生ごみ処理機はごみの減量化、資源化に対して有効だと思いますか

1. 有効である 2. 多少有効である 3. わからない 4. あまり有効ではない 5. 有効ではない

↓ ↓ ↓ ↓ ↓
ごみの減量化、資源化の普及・啓発に、 有効でないと思う理由を教えてください
補助制度は役立つと思いますか

1. 役立つと思う 2. 多少役立つと思う
3. あまり役立たないと思う 4. 役立たないと思う 5. わからない

問7. 補助制度を知って、ごみの減量化、資源化の関心は高まりましたか

1. 非常に高まった 2. 高まった 3. 変わらない 4. 低くなった 5. かなり低くなった

問8. 補助制度の申請方法や必要書類についてどう思いましたか

1. わかりやすかった 2. ふつう
3. わかりにくかった（わかりにくい点： ）

問9. 申請から補助金交付までの期間についてどう思いましたか

1. 早かった 2. 少し早かった 3. ふつう 4. 少し長かった 5. 長かった

問10. 電動生ごみ処理機の購入先はどのようなところですか

1. 市内家電販売店 2. 市内ホームセンター 3. 市外家電販売店 4. 市外ホームセンター
5. インターネット 6. テレビショッピング 7. その他（ ）

問11. さまざまな種類がある中、購入した電動生ごみ処理機を選んだ理由は何ですか（複数回答可）

1. 性能（容量） 2. 金額（維持費含） 3. デザイン 4. 販売店の接客 5. 使いやすさ
6. その他（ ）

【裏面に続きます】

問12. 現在の、電動生ごみ処理機の利用頻度はどのくらいですか

1. 毎日利用している
2. 週に1、2回
3. 月に1、2回
4. 年に数回
5. 使っていない
6. 壊れて使えない
7. その他 ()

問13. 現在は、電動生ごみ処理機で1日にどのくらいの生ごみを処理していますか

1. 100g未満
2. 100g～200g未満
3. 200g～400g未満
4. 400g以上

問14. 電動生ごみ処理機を使用してから生ごみの量はどのくらい減ったと思いますか

1. 約1/2
2. 約1/3
3. 約1/4
4. その他 ()

問15. 電動生ごみ処理機から出るニオイはどうか

1. ほとんど(まったく)ニオイがしない
2. 多少ニオイがするが気にならない
3. かなりニオイがするが気にならない
4. 多少ニオイがして気になる
5. かなりニオイがして気になる

問16. 電動生ごみ処理機から出る音はどうか

1. ほとんど(まったく)音がしない
2. 多少音がするが気にならない
3. かなり音がするが気にならない
4. 多少音がして気になる
5. かなり音がして気になる

問17. 電動生ごみ処理機で処理したあとの生成物(堆肥・乾燥物)はどのように処理していますか

1. 家庭菜園等での肥料
2. 花壇、プランター等での肥料
3. 庭に撒く
4. ごみとして排出
5. その他 ()

問18. 生成された生ごみ堆肥を資源の拠点回収で回収していることを知っていますか

1. 利用している
2. 知っているが利用していない
3. 知らない

問19. 電動生ごみ処理機の補助率(75%)についてどう思いましたか

1. 満足
2. ふつう
3. 不満(何%ならいいですか?) (%)

問20. 電動生ごみ処理機の補助金交付額(上限50,000円)についてどう思いましたか

1. 満足
2. ふつう
3. 不満(いくらならいいですか?) (円)

問21. 補助制度は、対象機器を購入後5年を経過すると再度利用できます(電動生ごみ処理機を買い替える場合に、再度補助制度が利用できます)。このことを知っていますか

1. 知っている
2. 知らない

問22. お手持ちの電動生ごみ処理機を購入後5年が経過した場合、もう一度電動生ごみ処理機を購入しますか

1. 補助制度のあるなしにかかわらず購入すると思う
2. 補助金額(率)が下がっても、補助金が出るのなら購入すると思う
3. 現在の補助金額(率)なら購入すると思うが、補助金額(率)が下がったら購入しないと思う
4. 補助制度のあるなしにかかわらず購入しないと思う
5. その他 ()

自由記入欄

電動生ごみ処理機の補助金交付や事業全体について、ご意見や感想などがあればご記入ください

問11. さまざまな種類がある中、購入した生ごみ処理容器（コンポスト）を選んだ理由は何ですか
（複数回答可）

1. 性能（容量）
2. 金額（維持費含）
3. デザイン
4. 販売店の接客
5. 使いやすさ
6. その他（ ）

問12. 現在の、生ごみ処理容器（コンポスト）の利用頻度はどのくらいですか

1. 毎日利用している
2. 週に1、2回
3. 月に1、2回
4. 年に数回
5. 使っていない
6. 壊れて使えない
7. その他（ ）

問13. 現在は、生ごみ処理容器（コンポスト）で1日にどのくらいの生ごみを処理していますか

1. 100g未満
2. 100g～200g未満
3. 200g～400g未満
4. 400g以上

問14. 生ごみ処理容器（コンポスト）を使用してから生ごみの量はどのくらい減ったと思いますか

1. 約1/2
2. 約1/3
3. 約1/4
4. その他（ ）

問15. 生ごみ処理容器（コンポスト）から出るニオイはどうですか

1. ほとんど（まったく）ニオイがしない
2. 多少ニオイがするが気にならない
3. かなりニオイがするが気にならない
4. 多少ニオイがして気になる
5. かなりニオイがして気になる

問16. できあがった生ごみ堆肥はどのように活用していますか

1. 家庭菜園等での肥料
2. 花壇、プランター等での肥料
3. 庭に撒く
4. ごみとして排出
5. その他（ ）

問17. 生ごみ処理容器（コンポスト）の補助率（90%）についてどう思いましたか

1. 満足
2. ふつう
3. 不満（何%ならいいですか？ ）

問18. 生ごみ処理容器（コンポスト）の補助金交付額（上限5000円）についてどう思いましたか

1. 満足
2. ふつう
3. 不満（いくらならいいですか？ ）

問19. 補助制度は、対象機器を購入後5年を経過すると再度利用できます（生ごみ処理容器（コンポスト）を買い替える場合に、再度補助制度が利用できます）。このことを知っていますか

1. 知っている
2. 知らない

問20. お手持ちの生ごみ処理容器（コンポスト）の購入後5年が経過した場合、もう一度生ごみ処理容器（コンポスト）を購入しますか

1. 補助制度のあるなしにかかわらず購入すると思う
2. 補助金額(率)が下がっても、補助金が出るのなら購入すると思う
3. 現在の補助金額(率)なら購入すると思うが、補助金額(率)が下がったら購入しないと思う
4. 補助制度のあるなしにかかわらず購入しないと思う
5. その他（ ）

自由記入欄

生ごみ処理容器（コンポスト）の補助金交付や事業全体について、ご意見やご感想などあればご記入ください。

生ごみ処理容器設置費補助金交付事業についてのアンケート

該当する番号に○をつけてください

問1. 生ごみ処理容器等設置費補助金交付制度（以下「補助制度」と言います）を、どのような方法で知りましたか（複数回答可）

1. 広報やまと 2. 市ホームページ 3. 自治会回覧 4. 公共施設設置チラシ 5. ロコミ
6. ごみ関係の説明会 7. 販売店等の宣伝 8. 資源とごみのパンフレット（市配布）
9. その他（ ）

問2. 補助制度のPR（周知）は十分なされていると思いますか

1. 十分されている 2. ふつう 3. 足りない 4. 大いに足りない

問3. 補助制度のPR（周知）について、有効だと思う方法を選んでください（複数回答可）

1. 広報やまと 2. 市ホームページ 3. 自治会回覧 4. 公共施設設置チラシ
5. やまとPSメール 6. イベント等でのチラシ配布 7. 販売店へのチラシ設置
8. 資源とごみのパンフレット（市配布）
9. その他（ ）

問4. ガーデンシュレッダーを購入しようと思ったきっかけはどのような理由からですか

（複数回答可）

1. ごみを減量化したい 2. 環境問題に関心がある 3. 成果物（チップ等）を利用したい
4. 補助金制度があるため 5. その他（ ）

問5. 補助制度が無くてもガーデンシュレッダーを購入していたと思いますか

1. 購入していたと思う 2. 購入していないと思う 3. わからない

問6. ガーデンシュレッダーはごみの減量化、資源化に対して有効だと思いますか

1. 有効である 2. 多少有効である 3. わからない 4. あまり有効ではない 5. 有効ではない



ごみの減量化、資源化の普及・啓発に、
補助制度は役立つと思いますか

1. 役立つと思う 2. 多少役立つと思う
3. あまり役立たないと思う 4. 役立たないと思う 5. わからない



有効でないと思う理由を教えてください

〔 〕

問7. 補助制度を知って、ごみの減量化、資源化の関心は高まりましたか

1. 非常に高まった 2. 高まった 3. 変わらない 4. 低くなった 5. かなり低くなった

問8. 補助制度の申請方法や必要書類についてどう思いましたか

1. わかりやすかった 2. ふつう
3. わかりにくかった（わかりにくい点： ）

問9. 申請から補助金交付までの期間についてどう思いましたか

1. 早かった 2. 少し早かった 3. ふつう 4. 少し長かった 5. 長かった

問10. ガーデンシュレッダーの購入先はどのようなところですか

1. 市内家電販売店 2. 市内ホームセンター 3. 市外家電販売店 4. 市外ホームセンター
5. インターネット 6. テレビショッピング 7. その他（ ）

【裏面に続きます】

問11. さまざまな種類がある中、購入したガーデンシュレッダーを選んだ理由は何ですか
(複数回答可)

1. 性能(容量)
2. 金額(維持費含)
3. デザイン
4. 販売店の接客
5. 使いやすさ
6. その他()

問12. 現在の、ガーデンシュレッダーの利用頻度はどのくらいですか

1. 毎日利用している
2. 週に1、2回
3. 月に1、2回
4. 年に数回
5. 使っていない
6. 壊れて使えない
7. その他()

問13. 現在は、ガーデンシュレッダーで1回にどのくらいの剪定枝を処理していますか

1. 10本未満
2. 10~50本未満
3. 50~100本未満
4. 100本以上

問14. ガーデンシュレッダーを使用してから剪定枝の量はどのくらい減ったと思いますか

1. 約1/2
2. 約1/3
3. 約1/4
4. その他()

問15. ガーデンシュレッダーで粉碎した処理品はどのように処理していますか

1. 家庭菜園等での肥料
2. 花壇、プランター等での肥料
3. 庭に撒く
4. ごみとして排出
5. その他()

問16. ガーデンシュレッダーの補助率(75%)についてどう思いましたか

1. 満足
2. ふつう
3. 不満(何%ならいいですか?)

問17. ガーデンシュレッダーの補助金交付額(上限30,000円)についてどう思いましたか

1. 満足
2. ふつう
3. 不満(いくらならいいですか?)

問18. 補助制度は、対象機器を購入後5年を経過すると再度利用できます(ガーデンシュレッダーを買い替える場合に、再度補助制度が利用できます)。このことを知っていますか

1. 知っている
2. 知らない

問19. お手持ちのガーデンシュレッダーの購入後5年が経過した場合、もう一度ガーデンシュレッダーを購入しますか

1. 補助制度のあるなしにかかわらず購入すると思う
2. 補助金額(率)が下がっても、補助金が出るのなら購入すると思う
3. 現在の補助金額(率)なら購入すると思うが、補助金額(率)が下がったら購入しないと思う
4. 補助制度のあるなしにかかわらず購入しないと思う
5. その他()

自由記入欄

ガーデンシュレッダーの補助金交付や事業全体について、ご意見や感想などがあればご記入ください。

平成23年度版
生ごみ処理容器等設置費補助金制度
利用状況等アンケート結果報告書

発行 大和市
平成24年3月
編集 大和市環境管理センター 収集業務課
〒242-0026 大和市草柳3-12-1
電話 046-269-7343